第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
1	助成・育成	幼稚園就園奨励費補助事業	教育委員会 学務課	○事業開始年度　昭和47年度 【概　要】条件を満たした保護者に対して、入園料・保育料の一部を減免する。 【対象者】未就学児童とその保護者 【具体的な活動内容】 ・市民税の所得割額が一定額以下の保護者に対して、市民税の課税状況等や同一世帯からの就園者数等に応じて、補助金を交付する。	国 補助	[概算コスト] 533,182 （内訳） ・決算額 532,115 ・人件費 1,067 （0.25人）	[概算コスト] 545,255 （内訳） ・決算額 544,194 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 566,496 （内訳） ・決算額 565,010 ・人件費 1,486 （0.35人）	[概算コスト] 609,961 （内訳） ・予算額 608,438 ・人件費 1,523 （0.35人）	補助対象幼稚園数 （単位：園）	[目標値] 69 [実績値] 69 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 69 [実績値] 73 〈達成率〉 105.8%	[目標値] 69 [実績値] 74 〈達成率〉 107.2%	[目標値] 69	総園児数に対する補助対象者の割合 （単位：%）	[目標値] 91 [実績値] 94 〈達成率〉 103.3%	[目標値] 92 [実績値] 95 〈達成率〉 104.0%	[目標値] 90 [実績値] 95 〈達成率〉 105.5%	[目標値] 90	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 少子化対策の上から幼稚園就園世帯の負担を軽減し、幼児期の教育を充実するために必要である。
2	助成・育成	私立幼稚園協会に対する助成事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和48年度 【概　要】私立幼稚園協会の円滑な運営を図り、適正な就学前教育を推進する。 【対象者】その他（私立幼稚園児、教職員、保護者） 【具体的な活動内容】 ・教材費、絵本に親しむ活動費、読み聞かせ奨励費、研修費、運営費、預り保育奨励費、幼児教育相談助成費等の補助	市 単	[概算コスト] 126,646 （内訳） ・決算額 126,134 ・人件費 512 （0.12人）	[概算コスト] 140,635 （内訳） ・決算額 140,126 ・人件費 509 （0.12人）	[概算コスト] 142,490 （内訳） ・決算額 141,981 ・人件費 509 （0.12人）	[概算コスト] 146,935 （内訳） ・予算額 146,413 ・人件費 522 （0.12人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 129,112 [実績値] 126,134 〈達成率〉 97.7%	[目標値] 141,064 [実績値] 140,126 〈達成率〉 99.3%	[目標値] 145,763 [実績値] 141,981 〈達成率〉 97.4%	[目標値] 146,413	預り保育園児数 （単位：人）	[目標値] 25,000 [実績値] 25,822 〈達成率〉 103.3%	[目標値] 27,000 [実績値] 32,926 〈達成率〉 121.9%	[目標値] 29,000 [実績値] 32,483 〈達成率〉 112.0%	[目標値] 33,000	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 幼児期の教育を充実するために必要である。
3	助成・育成	私立幼稚園障害児教育補助事業	教育委員会 学務課	○事業開始年度　平成元年度 【概　要】障害児が在園する私立幼稚園で県の助成対象になっていない園に補助する。 【対象者】障害児の在園する私立幼稚園 【具体的な活動内容】 ・5月1日現在において在園し、県の助成対象になっていない園に対し、助成する。一人あたり392，000円	市 単	[概算コスト] 4,995 （内訳） ・決算額 3,928 ・人件費 1,067 （0.25人）	[概算コスト] 5,774 （内訳） ・決算額 4,713 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 6,950 （内訳） ・決算額 5,889 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 7,360 （内訳） ・予算額 6,272 ・人件費 1,088 （0.25人）	補助対象園数 （単位:園）	[目標値] 16 [実績値] 10 〈達成率〉 62.5%	[目標値] 18 [実績値] 12 〈達成率〉 66.7%	[目標値] 16 [実績値] 15 〈達成率〉 93.8%	[目標値] 16	就園機会の拡充	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 障害児に対して、就園の機会拡充や障害の種類、程度に応じた教育を図るため、助成は必要であり、実施すべきである。
4	助成・育成	私立幼稚園施設・設備整備等助成事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成5年度 【概　要】私立幼稚園の園舎新築、増改築等及び大型遊具・備品購入等による整備並びに地震・台風等の影響による災害復旧の場合に必要経費の一部について補助金を交付する。 【対象者】市内の私立幼稚園 【具体的な活動内容】補助金交付先 ・（予定）19年度8園 ・（実績）18年度10園、17年度8園、16年度12園	市 単	[概算コスト] 21,802 （内訳） ・決算額 21,375 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 10,312 （内訳） ・決算額 9,887 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 20,869 （内訳） ・決算額 20,444 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 25,126 （内訳） ・予算額 24,691 ・人件費 435 （0.10人）	助成園数 （単位：園）	[目標値] 16 [実績値] 12 〈達成率〉 75.0%	[目標値] 11 [実績値] 8 〈達成率〉 72.7%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	幼稚園教育の円滑な実施と就学前教育のより一層の充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 園舎の新築・増改築等時に助成を行うことは必要であり、幼稚園教育の充実を図るため実施すべきである。
5	施設維持・管理	幼稚園施設整備単独事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　昭和63年度 【概　要】幼稚園施設の改修を行い、教育環境の整備充実を図る。 【対象者】鹿児島市立幼稚園の園児および教職員等 【具体的な活動内容】 ・園舎等の維持改修	市 単	[概算コスト] 1,274 （内訳） ・決算額 1,231 ・人件費 43 （0.01人）	[概算コスト] 5,771 （内訳） ・決算額 5,601 ・人件費 170 （0.04人）	[概算コスト] 1,643 （内訳） ・決算額 1,601 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 11,828 （内訳） ・予算額 11,480 ・人件費 348 （0.08人）	全幼稚園数 （単位：園）	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 園児の安全性の確保や教育環境の向上を図るため、施設の維持補修は必要である。
6	相談	教育相談の充実事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和52年度 【概　要】面接や電話による教育相談やカウンセリング等を実施し、青少年の心身の健全な発達を支援する。 【対象者】児童・生徒、保護者、教職員 【具体的な活動内容】 ・教育相談室での相談活動 ・市スクールカウンセラーの相談活動	市 単	[概算コスト] 26,809 （内訳） ・決算額 25,589 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 29,967 （内訳） ・決算額 29,118 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 29,080 （内訳） ・決算額 28,231 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 30,473 （内訳） ・予算額 29,603 ・人件費 870 （0.20人）	教育相談室相談員数 （単位：人）	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	教育相談室相談回数 （単位：回）	[目標値] 3,232 [実績値] 3,232 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,396 [実績値] 3,396 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,640 [実績値] 3,640 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 青少年の心身の健全な発達を支援するために必要である。
7	相談	スクールカウンセラー配置事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】中学校において実践的なカウンセリングを行い、生徒の問題行動等の解決に資する。 【対象者】生徒、教職員、保護者 【具体的な活動内容】 ・スクールカウンセラーの相談活動	国 ・ 県 補助	[概算コスト] 24,597 （内訳） ・決算額 24,170 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 23,404 （内訳） ・決算額 22,979 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 13,297 （内訳） ・決算額 12,872 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 13,307 （内訳） ・予算額 12,872 ・人件費 435 （0.10人）	スクールカウンセラー配置校数 （単位：校）	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 34 [実績値] 34 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 34 [実績値] 34 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 35	スクールカウンセラー相談回数 （単位：回）	[目標値] 2,532 [実績値] 2,532 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,085 [実績値] 3,085 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2,085 [実績値] 2,085 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中学生の心の問題の解決を図るために必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
8	相談	不登校児童生徒支援事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】不登校児童生徒への支援と保護者等への相談などに応じる。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・適応指導教室での集団適応や自立支援の学習、体験学習 ・家庭を訪問しての学習支援 ・保護者への相談活動等	市単	[概算コスト] 9,457 （内訳） ・決算額 9,030 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 19,833 （内訳） ・決算額 18,984 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 18,669 （内訳） ・決算額 17,820 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 19,989 （内訳） ・予算額 19,119 ・人件費 870 （0.20人）	適応指導相談員数 （単位：人）	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	適応指導教室延べ通級生数 （単位：人）	[目標値] 2,694 [実績値] 2,694 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,230 [実績値] 3,230 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,464 [実績値] 3,464 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 不登校児童生徒の学校への適応力を培うために必要である。
9	助成・育成	明るく楽しい学校づくりサポート事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】明るく楽しい学校づくりを支援するために、サポートチームを組織し、青少年の健全育成を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・全中学校区にサポートチームを組織し、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	市単	[概算コスト] 555 （内訳） ・決算額 128 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 532 （内訳） ・決算額 107 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 546 （内訳） ・決算額 121 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 619 （内訳） ・予算額 184 ・人件費 435 （0.10人）	サポートチーム数 （単位：チーム数）	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12	サポートチームの結成率 （単位：%）	[目標値] 26 [実績値] 26 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 58 [実績値] 58 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 74	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 学校と地域が連携して地域ぐるみで青少年の健全育成を図ることにより、きめ細かで地域に根ざしたものになるため、継続して実施する必要がある。
10	啓発・広報	生徒指導の充実事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成4年度 【概　要】教職員の生徒指導力の向上を図るとともに、児童生徒のいじめ防止意識や不登校防止等の啓発を図る。 【対象者】児童・生徒　その他（教職員） 【具体的な活動内容】 ・いじめ防止啓発強調月間作品募集や市生徒指導関係研修会等の実施を行う。	市単	[概算コスト] 4,806 （内訳） ・決算額 3,526 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 5,337 （内訳） ・決算額 4,063 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 5,553 （内訳） ・決算額 4,279 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 4,075 （内訳） ・予算額 2,770 ・人件費 1,305 （0.30人）	いじめ防止啓発強調月間作品募集回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	作品応募点数 （単位：点）	[目標値] 3,000 [実績値] 2,950 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 3,300 [実績値] 3,934 〈達成率〉 119.2%	[目標値] 3,900 [実績値] 4,013 〈達成率〉 102.9%	[目標値] 3,900	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童生徒のいじめ防止意識の啓発を図るために必要である。
11	助成・育成	芸術文化活動等の奨励事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和31年度 【概　要】芸術文化活動を奨励充実し、児童生徒の情操陶冶と個性の伸長を図る。 【対象者】児童生徒 【具体的な活動内容】 ・小・中学校音楽発表会 ・小・中学校図工・美術学習発表展 ・中学校生徒連盟学芸発表会 ・仲よし作品展 ・県図画作品展市審査会	市単	[概算コスト] 3,512 （内訳） ・決算額 3,085 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 3,826 （内訳） ・決算額 3,401 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 3,498 （内訳） ・決算額 3,073 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 3,721 （内訳） ・予算額 3,286 ・人件費 435 （0.10人）	発表会開催回数 （単位：回）	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	参加児童生徒数 （単位：人）	[目標値] 9,000 [実績値] 8,390 〈達成率〉 93.2%	[目標値] 9,000 [実績値] 9,490 〈達成率〉 105.4%	[目標値] 10,000 [実績値] 9,370 〈達成率〉 93.7%	[目標値] 10,000	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童生徒の情操陶冶や個性の伸張を図るために必要である。
12	助成・育成	音楽等文化活動に対する助成事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和62年度 【概　要】市や県の代表として九州・全国大会に出場した市立小・中・高等学校の吹奏楽、合唱等の音楽に係る団体に対して、必要な経費の一部を助成する。 【対象者】市立小・中・高等学校の児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・補助金の交付	市単	[概算コスト] 5,070 （内訳） ・決算額 4,643 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 5,834 （内訳） ・決算額 5,409 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 8,174 （内訳） ・決算額 7,749 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 4,245 （内訳） ・予算額 3,810 ・人件費 435 （0.10人）	大会、コンクール等の出場団体数 （単位：団体）	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 13 〈達成率〉 108.3%	[目標値] 12 [実績値] 18 〈達成率〉 150.0%	[目標値] 12	参加児童生徒数 （単位：人）	[目標値] 480 [実績値] 476 〈達成率〉 99.2%	[目標値] 480 [実績値] 470 〈達成率〉 97.9%	[目標値] 480 [実績値] 747 〈達成率〉 155.6%	[目標値] 800	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童生徒の音楽文化活動の充実を図るために必要である。
13	啓発・広報	「こころの言の葉」コンクール事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】中学生とその保護者が、葉書1枚程度のメッセージの交換をとおして、相手の存在の意義と自分の在り方・生き方を考える。 【対象者】本市内の中学生とその保護者 【具体的な活動内容】 ・手紙文コンクールの実施 ・作品集「こころの言の葉」の作成、配布	市単	[概算コスト] 3,168 （内訳） ・決算額 2,741 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 2,100 （内訳） ・決算額 1,675 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 1,757 （内訳） ・決算額 1,332 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 2,696 （内訳） ・予算額 2,261 ・人件費 435 （0.10人）	募集回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	応募作品数 （単位：点）	[目標値] 3,800 [実績値] 4,712 〈達成率〉 124.0%	[目標値] 3,900 [実績値] 8,068 〈達成率〉 206.9%	[目標値] 4,000 [実績値] 10,848 〈達成率〉 271.2%	[目標値] 8,000	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 大賞作品等については、積極的に広報するなど、効果的な活用を図るべきである。
14	啓発・広報	人権教育の推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和52年度 【概　要】 あらゆる人権問題について正しい認識と理解を深め、人権尊重の精神に徹し、差別や偏見をなくしていこうとする意欲と実践力をもった人間の育成に努めるよう各学校における人権教育の充実を図っている。 【対象者】 教育委員会職員、教職員、児童生徒、保護者 【具体的な活動内容】 ・人権同和教育担当者会の開催、人権教育指導法等研修会の開催、人権教育資料の作成・配布、人権教育啓発用ビデオテープ等の購入、人権教育研修会・研究会への出席	市単	[概算コスト] 2,441 （内訳） ・決算額 1,161 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 1,931 （内訳） ・決算額 657 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 1,847 （内訳） ・決算額 573 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 2,064 （内訳） ・予算額 759 ・人件費 1,305 （0.30人）	人権教育資料の配付校園数 （単位：校園）	[目標値] 124 [実績値] 124 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 124	人権教育資料の配付校園率 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教職員が人権問題への正しい認識と理解を持ち、人権教育を推進するために必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち

第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
15	啓発・広報	「児童の権利に関する条約」の学習指導事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成11年度 【概　要】「児童の権利に関する条約」の第42条（児童生徒への条約の広報義務）に基づき、児童に対して条約の理解を図るため、条約の主な内容を紹介した冊子を作成し、新4年生に配布している。 【対象者】小学校4～6年児童、教職員、保護者 【具体的な活動内容】・学級活動等での活用や家庭での保護者との活用によって、発達段階に即しながら人権に対する意識を高め、自他の人権を尊重する態度を身につけられる。小学校6年の社会科、中学校公民の学習では補助教材としても活用している。	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 627 （内訳） ・決算額 415 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・予算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	4年生に対する配布校数 （単位：校）	[目標値] 58 [実績値] 78 〈達成率〉 134.5%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78	市内全小学校における活用率 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 134 〈達成率〉 134.0%	[目標値] 100 [実績値] 97 〈達成率〉 97.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 心の教育推進のため必要な事業である。
16	社会基盤・都市施設基盤	「心の教室」整備事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】旧5町の中学校について、教育相談室を拡充し、「心の教室」の整備を行う。（旧市は整備済み） 【対象者】鹿児島市立中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・木材を活用し、温かみと潤いのある教育環境の中でカウンセリングや教育相談を行うための「心の教室」を整備する。	国補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 11,372 （内訳） ・決算額 11,330 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 9,244 （内訳） ・予算額 9,200 ・人件費 44 （0.01人）	事業対象中学校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	F	F	終了 （理由） 旧5町の中学校について、教育相談室を拡充する「心の教室」の整備が19年度で完了予定であることから、事業を終了する。
17	助成・育成	学力検査の実施事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和37年度 【概　要】標準化された学力検査を実施することにより、学力についての実態を把握し、学習指導の改善を図る。 【対象者】市立小・中学校の全小6、中3の児童生徒 【具体的な活動内容】 ・小学校6年生に対して、国語、社会、算数、理科の4教科の学力検査を、中学校3年生に対して、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の学力検査を実施する。	市単	[概算コスト] 15,953 （内訳） ・決算額 15,526 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 17,213 （内訳） ・決算額 16,788 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 17,116 （内訳） ・決算額 16,691 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 16,590 （内訳） ・予算額 16,155 ・人件費 435 （0.10人）	学力検査受検者数 （単位：人）	[目標値] 11,305 [実績値] 11,305 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12,240 [実績値] 12,240 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12,311 [実績値] 12,311 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11,732	教育課程や指導方法の改善・充実を図る	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 学校が児童生徒の学力状況を客観的に把握し、児童生徒の学力向上のために必要である。
18	助成・育成	学校図書館等事務運営交付金事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】市立小・中学校の図書館経営や学校事務の円滑化を図り、児童生徒の読書活動の推進に努めるとともに、学校の効率的な運営のための人的な整備拡充を図る。 【対象者】全小中学校 【具体的な活動内容】 ・司書補：小中併設校の錫山中を除く全小中学校に1人配置（116人） ・事務補助：児童生徒数200人以上の小中学校に1人配置（90人）	市単	[概算コスト] 359,079 （内訳） ・決算額 357,799 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 413,796 （内訳） ・決算額 412,522 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 415,900 （内訳） ・決算額 414,626 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 434,874 （内訳） ・予算額 433,569 ・人件費 1,305 （0.30人）	該当校に対する司書補の配置数 （単位：人）	[目標値] 89 [実績値] 89 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 115 [実績値] 115 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 116 [実績値] 116 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 116	該当校に対する司書補の配置率 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 学校の円滑な運営のため、必要な事業である。
19	助成・育成	国際交流教育の推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和57年度 【概　要】語学指導等を行う外国青年（外国語指導助手ALT）の招致、中学生スキット・スピーチコンテストの実施 【対象者】中学校、高等学校 【具体的な活動内容】 ・外国語指導助手14人が中・高等学校を訪問し、日本人教師とともに英語指導を行う。 ・公立39中学校（2年、3年）の代表による英語スキット・スピーチコンテストを開催する。	市単	[概算コスト] 57,284 （内訳） ・決算額 56,857 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 77,011 （内訳） ・決算額 76,162 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 77,720 （内訳） ・決算額 76,871 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 74,722 （内訳） ・予算額 73,852 ・人件費 870 （0.20人）	市立中・高等学校の各学級ごとのALTの訪問回数 （単位：回／学級）	[目標値] 10 [実績値] 11 〈達成率〉 106.0%	[目標値] 10 [実績値] 9 〈達成率〉 93.2%	[目標値] 10 [実績値] 11 〈達成率〉 106.0%	[目標値] 10	中高校生の英語のコミュニケーション能力の向上	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 英語によるコミュニケーション能力を向上させ、国際的視野のある生徒の育成を図るために必要である。
20	社会基盤・都市施設基盤	教育情報ネットワークシステム活用推進事業	教育委員会 学習情報センター	○事業開始年度　平成10年度 【概　要】インターネットの活用推進を図り、学校における情報教育を積極的に推進する。 【対象者】市立幼・小・中・高等学校の教職員及び園児・児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・市立幼・小・中・高等学校間の情報ネットワークの整備、コンテンツ配信及び地域情報拠点化の推進	市単	[概算コスト] 52,113 （内訳） ・決算額 51,260 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 73,230 （内訳） ・決算額 72,381 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 71,456 （内訳） ・決算額 70,607 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 70,817 （内訳） ・予算額 69,947 ・人件費 870 （0.20人）	学校ホームページ発信校数 （単位：校）	[目標値] 119 [実績値] 119 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 119 [実績値] 119 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120	独自開発による学習用コンテンツ配信数 （単位：本）	[目標値] 1,000 [実績値] 998 〈達成率〉 99.8%	[目標値] 200 [実績値] 191 〈達成率〉 95.5%	[目標値] 300 [実績値] 350 〈達成率〉 116.7%	[目標値] 200	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 情報化時代の進展を踏まえ、インターネットの活用や操作技術の向上のために必要である。
21	助成・育成	外国人等児童生徒の教育推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成2年度 【概　要】外国人等児童生徒の日本語指導のため、名山小学校内に日本語教室を開設し、日本語指導協力者3人を配置し、担任の指導補助にあたらせるとともに、訪問指導や教職員研修等を行う。 【対象者】その他（鹿児島市立小・中学校の外国人等児童生徒） 【具体的な活動内容】 ・日本語教室の設置、鹿児島市立小・中学校に在籍する日本語が理解できない外国人等児童生徒に日本語指導等を行う。	市単	[概算コスト] 1,154 （内訳） ・決算額 941 ・人件費 213 （0.05人）	[概算コスト] 1,081 （内訳） ・決算額 869 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 1,159 （内訳） ・決算額 947 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 1,185 （内訳） ・予算額 967 ・人件費 218 （0.05人）	日本語指導協力者による指導回数 （単位：回）	[目標値] 90 [実績値] 90 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 90 [実績値] 90 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120	日本語の習得や生活への適応	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	現状のまま継続 （理由） 外国人等児童生徒の日本語習得や生活への適応のためには、指導協力者の配置や教職員の資質向上が必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち

第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
22	助成・育成	小学校における英会話活動の推進事業	教育委員会学校教育課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】小学校における英会話活動の充実を図るため、小学校に英会話活動協力員（AEA）を派遣する。 【対象者】児童 【具体的な活動内容】 ・小学校にAEAを派遣する。1～2年生の各学級に年間3時間、3～6年生の各学級に年間10時間派遣する。	市単	[概算コスト] 21,269 （内訳） ・決算額 20,842 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 26,809 （内訳） ・決算額 26,384 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 26,292 （内訳） ・決算額 25,655 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 26,952 （内訳） ・予算額 26,299 ・人件費 653 （0.15人）	小学3～6年生の各学級における訪問時間数 （単位：時間／学級）	[目標値] 10 [実績値] 9 〈達成率〉 85.0%	[目標値] 10 [実績値] 11 〈達成率〉 109.0%	[目標値] 10 [実績値] 9 〈達成率〉 92.0%	[目標値] 10	全小学校における英語活動の実施校数 （単位：校）	[目標値] 58 [実績値] 58 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 英語によるコミュニケーションなどを通じて、広い視野、国際的視点に立った児童の育成を図るために必要である。
23	助成・育成	ふるさと先生招へい事業	教育委員会学校教育課	○事業開始年度　平成17年度 【概　要】児童生徒に学ぶことの意義や大切さを伝えると共に，夢や希望を持たせるために、地域等の人材をふるさと先生として招聘し、授業や講演を行う。 【対象者】市立小・中・高校の教職員・児童生徒及びその保護者 【具体的な活動内容】・学校から人材活用計画書の提出（5月） 人材の条件：校区居住者，卒業生，その他事業趣旨に沿う者 ・各学校での計画に沿ったふるさと先生による授業・講演等の実施 ふるさと先生事業実施報告及び講師謝金の支払い	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 4,449 （内訳） ・決算額 3,600 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 4,470 （内訳） ・決算額 3,600 ・人件費 870 （0.20人）	[概算コスト] 4,035 （内訳） ・予算額 3,600 ・人件費 435 （0.10人）	年間の延べ実施校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 120 [実績値] 223 〈達成率〉 185.8%	[目標値] 223 [実績値] 234 〈達成率〉 104.9%	[目標値] 234	参加児童生徒数 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 14,400 [実績値] 14,280 〈達成率〉 99.2%	[目標値] 14,280 [実績値] 47,142 〈達成率〉 330.1%	[目標値] 47,142	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地域活力の導入などにより個性を伸ばす教育を推進するため必要な事業である。
24	施設維持・管理	学習情報センター管理運営・機材整備事業	教育委員会学習情報センター	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】情報化時代に対応した学校教育・社会教育を振興・支援する学習情報センターとして、その機能や役割を充実する。 【対象者】学校教育・社会教育関係者、一般市民 【具体的な活動内容】 ・研修や学習に必要な機材・16ミリ映画教材・VTR教材を整備するとともに、事務嘱託員を配置し、機材・教材の貸出・管理を行う。	市単	[概算コスト] 11,928 （内訳） ・決算額 11,079 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 10,776 （内訳） ・決算額 9,927 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 10,451 （内訳） ・決算額 9,602 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 10,232 （内訳） ・予算額 9,362 ・人件費 870 （0.20人）	その年の各種視聴覚機材・教材の整備数 （単位：本）	[目標値] 54 [実績値] 46 〈達成率〉 85.2%	[目標値] 46 [実績値] 41 〈達成率〉 89.1%	[目標値] 46 [実績値] 56 〈達成率〉 121.7%	[目標値] 50	各種視聴覚機材・教材の貸出数 （単位：本）	[目標値] 600 [実績値] 705 〈達成率〉 117.5%	[目標値] 720 [実績値] 793 〈達成率〉 110.1%	[目標値] 800 [実績値] 895 〈達成率〉 111.9%	[目標値] 850	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 情報化社会が進展する中、情報教育における指導者の資質向上を推進する必要があり、研修講座等を実施すべきである。
25	社会基盤・都市施設基盤	普通教室等コンピュータ整備事業	教育委員会学習情報センター	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】市立小・中・高等学校にコンピュータや周辺機器を整備し、児童・生徒の情報活用能力を育成する。 【対象者】市立小・中・高等学校の教職員及び児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・各学校にノート型コンピュータを普通教室に2台ずつ、特別教室等に規模に応じ平均4台ずつ整備する。	市単	[概算コスト] 120,553 （内訳） ・決算額 119,700 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 125,967 （内訳） ・決算額 125,118 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 145,005 （内訳） ・決算額 144,156 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 156,951 （内訳） ・予算額 156,081 ・人件費 870 （0.20人）	市立小・中・高等学校の普通教室及び特別教室へのコンピュータ整備累計台数 （単位：台）	[目標値] 3,301 [実績値] 3,301 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,832 [実績値] 3,832 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4,026 [実績値] 4,026 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4,252	普通教室用コンピュータ1校当たりの1月平均利用時間 （単位：時間）	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 101.0%	[目標値] 50 [実績値] 45 〈達成率〉 90.0%	[目標値] 70 [実績値] 70 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 80	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童生徒の情報活用能力育成のために必要な事業である。
26	社会基盤・都市施設基盤	教育用コンピュータ活用推進事業	教育委員会学習情報センター	○事業開始年度　平成10年度 【概　要】市立小・中・高等学校のコンピュータ室にコンピュータを整備し、児童・生徒の情報活用能力を育成する。 【対象者】市立小・中・高等学校の教職員及び児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・市立小・中・高等学校のコンピュータ室に1人1台のコンピュータを整備し、その維持管理及び消耗品の補充を行う。	市単	[概算コスト] 185,276 （内訳） ・決算額 184,423 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 219,124 （内訳） ・決算額 218,275 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 219,505 （内訳） ・決算額 218,656 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 205,635 （内訳） ・予算額 204,765 ・人件費 870 （0.20人）	市立小・中・高等学校のコンピュータ室のコンピュータ整備累計台数 （単位：台）	[目標値] 3,517 [実績値] 3,517 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,517 [実績値] 3,517 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,517 [実績値] 3,517 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,517	コンピュータ室1校当たりの1月平均利用時間 （単位：時間）	[目標値] 50 [実績値] 44 〈達成率〉 88.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 50 [実績値] 51 〈達成率〉 102.0%	[目標値] 50	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童生徒の情報活用能力育成のために必要な事業である。
27	助成・育成	国内交流教育の推進事業	教育委員会学校教育課	○事業開始年度　昭和44年度 【概　要】鶴岡・大垣両市及び養老町中学生との交流を通じて、次代を担う若者が薩摩の先人の遺業等に直接ふれることにより、人間としての在り方を学び、自己の生き方について考える契機とする。 【対象者】本市中学生 【具体的な活動内容】 ・鶴岡市中学生との交流（本市中学生を隔年で派遣） ・大垣市中学生との交流（本市中学生を毎年派遣） ・岐阜県養老町中学生との交流（派遣はなし）	市単	[概算コスト] 2,292 （内訳） ・決算額 2,185 ・人件費 107 （0.30人）	[概算コスト] 6,489 （内訳） ・決算額 5,215 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 3,583 （内訳） ・決算額 2,309 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 6,724 （内訳） ・予算額 5,419 ・人件費 1,305 （0.30人）	交流事業の参加者総数 （単位：人）	[目標値] 118 [実績値] 118 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 159 [実績値] 159 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 298 [実績値] 298 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 236	参加中学生のうち有意義であったと回答した生徒数 （単位：人）	[目標値] 99 [実績値] 99 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 138 [実績値] 138 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 268 [実績値] 268 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 210	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 郷土の先人の偉業に触れ、人間としての在り方・生き方を考えたり、中学生同士が交流を深めていくことで、将来郷土の発展に尽くす人材を育成するために必要である。
28	社会基盤・都市施設基盤	鹿児島女子高等学校コンピュータ整備事業	教育委員会学習情報センター	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】鹿児島女子高等学校に整備しているワープロ専用機を更新するなど、商業教育に資するための整備を進める。 【対象者】鹿児島女子高等学校の教職員及び生徒 【具体的な活動内容】 ・文書処理室のワープロ専用機をデスクトップ型のコンピュータシステムに更新する。	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 2,812 （内訳） ・決算額 1,963 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 3,489 （内訳） ・予算額 2,619 ・人件費 870 （0.20人）	整備した台数 （単位：台）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	週当たりの利用率 （単位：%）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 97 [実績値] 93 〈達成率〉 95.9%	[目標値] 97	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 生徒の情報活用能力育成のために必要な事業である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち

第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
29	助成・育成	個性あふれる学校づくり推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】「総合的な学習の時間」等において、体験活動を充実させ、特色ある教育活動を推進する。 【対象者】小・中学生、高校生 【具体的な活動内容】 ・地域の人材や外部講師を授業に活用するための報償費、バスの借上料や施設入館料等の使用料及び施設入館料等使用料及び賃借料、切手・乗車カード等の購入に要する役務費。	市単	[概算コスト] 10,684 （内訳） ・決算額 9,835 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 12,327 （内訳） ・決算額 11,478 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 13,072 （内訳） ・決算額 12,223 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 14,639 （内訳） ・予算額 13,769 ・人件費 870 （0.20人）	実施校数 （単位：校）	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 120	効果があるとした学校の割合 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 体験的な学習を通じて、人間性豊かで、たくましい児童生徒を育成するために必要である。
30	内部管理	学校における研究等の充実事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和62年度 【概　要】学校間の情報交換や教職員の職務遂行能力、専門性等の資質向上を図り、本市学校教育の充実を図る。 【対象者】各学校の教職員 【具体的な活動内容】 ・研究協力校への助成、幼・小連携研修会、小・中連携研修会、市立高校教職員派遣旅費	市単	[概算コスト] 1,949 （内訳） ・決算額 1,522 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,725 （内訳） ・決算額 1,300 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 2,265 （内訳） ・決算額 1,840 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 2,357 （内訳） ・予算額 1,922 ・人件費 435 （0.10人）	研究校視定数 （単位：校）	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12	効果があるとした学校の割合 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教師の資質向上を図り、児童生徒に対する教育を充実するために必要である。
31	調査・研究	学校評価実践研究事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】文科省が示した「学校評価ガイドライン」を参考にして、学校の自己評価や外部評価の在り方について実践研究を行い、成果を県・文科省へ報告するとともに、協力校以外の学校へ普及を図る。 【対象者】実践研究協力校（小学校6校・中学校4校　計10校） 【具体的な活動内容】・協力校において、教職員による自己評価や保護者等へのアンケート実施・分析等、外部評価の実施 ・実践研究成果を冊子にまとめて、各学校へ配布するとともに市や協力校のホームページで公開　等	県補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 5,526 （内訳） ・決算額 4,677 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 6,870 （内訳） ・予算額 6,000 ・人件費 870 （0.20人）	協力校における自己評価等の実施回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	学校評価の改善	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	－	F	F	**終了** （理由） 文部科学省が、実践研究により学校評価改善に資するため平成18・19年度の2年間を指定して実施した事業であり、国の事業指定年度の終了に伴い終了する。
32	内部管理	学校教育指導	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和42年度 【概　要】指導主事の研究会参加と教育指導に必要な指導を実施する。 【対象者】指導主事、教職員 【具体的な活動内容】 ・指導主事の校内研究会派遣	市単	[概算コスト] 4,355 （内訳） ・決算額 3,843 ・人件費 512 （0.12人）	[概算コスト] 5,168 （内訳） ・決算額 4,659 ・人件費 509 （0.12人）	[概算コスト] 4,417 （内訳） ・決算額 3,908 ・人件費 509 （0.12人）	[概算コスト] 4,370 （内訳） ・予算額 3,848 ・人件費 522 （0.12人）	指導主事等の校内研究会派遣回数 （単位：回）	[目標値] 352 [実績値] 424 〈達成率〉 120.5%	[目標値] 424 [実績値] 462 〈達成率〉 109.0%	[目標値] 462 [実績値] 437 〈達成率〉 94.6%	[目標値] 437	各学校の教職員の指導力向上及び児童生徒の学力向上	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 各学校の教職員の指導力向上及び児童・生徒の学力向上を図るため、継続して実施する必要がある。
33	調査・研究	学習情報センター調査・研修運営事業	教育委員会 学習情報センター	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】学校教育、社会教育における情報教育指導者育成のための研修講座の実施や教育開発研究委員会を組織し、基礎的・実践的・先導的な研究を行う。 【対象者】教職員及び応募した市民 【具体的な活動内容】 ・学校教育に関する課題解決に資するため基礎的・実践的・先導的調査研究を行う。また、学校教育及び社会教育の振興を図るため講座を開設する。	市単	[概算コスト] 2,582 （内訳） ・決算額 1,729 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 2,967 （内訳） ・決算額 2,118 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 2,263 （内訳） ・決算額 1,414 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 2,196 （内訳） ・予算額 1,326 ・人件費 870 （0.20人）	教育開発研究委員会の回数 （単位：回）	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	操作可能な教員数の割合 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 98 〈達成率〉 98.0%	[目標値] 100 [実績値] 99 〈達成率〉 99.0%	[目標値] 100 [実績値] 99 〈達成率〉 99.0%	[目標値] 100	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 情報化社会が進展する中、情報教育における指導者の資質向上を推進する必要があり、研修講座等を実施すべきである。
34	内部管理	教職員等研修事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成12年度 【概　要】 県から委譲された各種教職員研修会の実施 【対象者】 市立小・中・高等学校教職員 【具体的な活動内容】 （1）教職経験年数に応じた研修 ・初任者研修，5年経験者研修，10経験者研修等 （2）専門性を高める研修　・指導方法研修等 （3）職能に応じた研修　・教頭研修等	市単	[概算コスト] 2,419 （内訳） ・決算額 1,992 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 2,216 （内訳） ・決算額 1,791 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 2,326 （内訳） ・決算額 1,901 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 2,163 （内訳） ・予算額 1,728 ・人件費 435 （0.10人）	各研修の実施回数 （単位：回）	[目標値] 104 [実績値] 104 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 104 [実績値] 104 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 104 [実績値] 104 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 104	教職員の資質向上	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教職員の資質を向上させ、児童・生徒の学力を向上させるためには、教職員が研修や研究の機会をもつことが必要である。
35	内部管理	教職員派遣研修等事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和31年度 【概　要】教職員の研修に対する助成を行うとともに、本市で開催される各種研究大会に補助金を交付し、教職員の資質向上を図る。 【対象者】教職員 【具体的な活動内容】 （1） 研究会・研修会等への派遣 （2） 各種研究会等への補助	市単	[概算コスト] 8,734 （内訳） ・決算額 8,307 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 9,789 （内訳） ・決算額 9,364 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 10,260 （内訳） ・決算額 9,835 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 9,694 （内訳） ・予算額 9,259 ・人件費 435 （0.10人）	研究会・研修会等への派遣 （単位：人）	[目標値] 220 [実績値] 204 〈達成率〉 92.7%	[目標値] 223 [実績値] 226 〈達成率〉 101.3%	[目標値] 218 [実績値] 256 〈達成率〉 117.4%	[目標値] 192	教職員の資質向上	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教職員が研修や研究に参加を促し、資質の向上を図るため必要な事業である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
36	内部管理	市教育講演会事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和31年度 【概　要】研修の一環として教育講演会を開催し、平素の教育活動の充実を図る。 【対象者】市立の幼・小・中・高等学校の教職員 【具体的な活動内容】 ・年1回の教育講演会の実施	市単	[概算コスト] 1,070 （内訳） ・決算額 643 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 960 （内訳） ・決算額 535 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 956 （内訳） ・決算額 531 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 952 （内訳） ・予算額 517 ・人件費 435 （0.10人）	教育講演会開催回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	教育講演会出席者数 （単位：人）	[目標値] 1,800 [実績値] 1,900 〈達成率〉 105.6%	[目標値] 1,800 [実績値] 1,601 〈達成率〉 88.9%	[目標値] 1,800 [実績値] 1,811 〈達成率〉 100.6%	[目標値] 1,800	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	—	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教職員の資質を向上させ、児童・生徒の学力を向上させるためには、講演を聞く機会をもつことが必要である。
37	社会基盤・都市施設基盤	校舎・屋体等建設事業（小学校費・中学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　昭和60年度 【概　要】建築後、概ね30年を経過した鉄筋コンクリート造の校舎及び屋体の増改築又は大規模改造を行う。 【対象者】鹿児島市立小中学校の児童生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・校舎及び屋体の増改築又は大規模改造	国補助	[概算コスト] 1,437,198 （内訳） ・決算額 1,429,519 ・人件費 7,679 （1.80人）	[概算コスト] 1,364,517 （内訳） ・決算額 1,356,876 ・人件費 7,641 （1.80人）	[概算コスト] 1,491,061 （内訳） ・決算額 1,482,571 ・人件費 8,490 （2.00人）	[概算コスト] 2,015,749 （内訳） ・予算額 2,007,049 ・人件費 8,700 （2.00人）	増改築又は大規模改造を実施した校舎及び屋内運動場の棟数 （単位：棟）	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9	教育環境の整備充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	—	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童・生徒の安全性や災害時の避難所機能の確保のため、校舎・屋内体育館の耐震化・長寿命化は継続して実施する必要がある。
38	施設維持・管理	施設整備単独事業（小学校費・中学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　昭和63年度 【概　要】既設校の校舎及び屋内運動場の維持改修、倉庫等の設置並びに校庭整地等を行い、教育環境の整備充実を図る。 【対象者】鹿児島市立小中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・既設校舎、屋内運動場等の維持改修。倉庫等の設置。校庭整地。	市単	[概算コスト] 553,451 （内訳） ・決算額 538,819 ・人件費 14,632 （3.43人）	[概算コスト] 580,753 （内訳） ・決算額 566,108 ・人件費 14,645 （3.45人）	[概算コスト] 559,927 （内訳） ・決算額 545,324 ・人件費 14,603 （3.44人）	[概算コスト] 375,226 （内訳） ・予算額 365,221 ・人件費 10,005 （2.30人）	全小中学校 （単位：校）	[目標値] 92 [実績値] 92 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 118 [実績値] 118 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 119 [実績値] 119 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 119	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	—	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童・生徒の安全性の確保や教育環境の向上を図るため、雨漏や危険箇所等の施設整備は継続して実施する必要がある。
39	施設維持・管理	外壁改修事業（小学校費・中学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成3年度 【概　要】校舎等の外壁剥落による事故防止及び耐震診断・耐震補強工事を実施し、児童生徒等の安全を確保する。 【対象者】鹿児島市立小中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・外壁調査：校舎・屋体の外壁を調査し、剥落の危険性を判断 ・外壁補修・改修：外壁調査の結果により剥落の危険性の高い校舎等について必要な補修改修を行う。 ・耐震診断・補強：外壁補修・改修にあわせて、耐震診断・補強を行っていない校舎等について行う。	国補助	[概算コスト] 201,094 （内訳） ・決算額 197,767 ・人件費 3,327 （0.78人）	[概算コスト] 274,584 （内訳） ・決算額 271,825 ・人件費 2,759 （0.65人）	[概算コスト] 504,201 （内訳） ・決算額 499,149 ・人件費 5,052 （1.19人）	[概算コスト] 681,379 （内訳） ・予算額 674,375 ・人件費 7,004 （1.61人）	事業対象小中学校数 （単位：校）	[目標値] 41 [実績値] 41 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 66 [実績値] 66 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 95 [実績値] 95 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 74	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	—	A	A	**現状のまま継続** （理由） 外壁剥離事故の防止及び地震に対する安全性の確保のため、外壁の剥落の危険性の高い建物は、適宜、補修・改修を行う必要がある。
40	社会基盤・都市施設基盤	学校クーラー設置事業（小学校費・中学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成4年度 【概　要】夏季の降灰時期も快適な教育環境を確保するために降灰対策として小中学校にクーラーを設置しているが、19年度から新たに旧4町の特別教室等に設置する。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・小・中学校の特別教室等にクーラーを設置する。	国補助	[概算コスト] 49,245 （内訳） ・決算額 47,965 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 41,624 （内訳） ・決算額 40,350 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 16,213 （内訳） ・決算額 14,939 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 236,582 （内訳） ・予算額 235,277 ・人件費 1,305 （0.30人）	特別教室等設置校数 （単位：校）	[目標値] 39 [実績値] 39 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 39 [実績値] 39 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 24	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	—	A	A	**現状のまま継続** （理由） 夏季の降灰時期も快適な教育環境を確保するために降灰対策として小中学校の特別教室等にクーラーを設置することは必要である。
41	社会基盤・都市施設基盤	学校施設緑化モデル事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】学校校庭を芝生化することで、児童の教育環境の充実と、ヒートアイランド現象の抑制を図る。 【対象者】鹿児島市立小学校の児童及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・学校校庭の一部芝生化	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 7,448 （内訳） ・決算額 7,023 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 14,007 （内訳） ・予算額 13,572 ・人件費 435 （0.10人）	校庭芝生化実施校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	—	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） モデル校の緑化整備が終了することから、効果を検証し、さらなる事業の推進を検討する必要がある。
42	施設維持・管理	施設整備事業（旧5町分）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】旧5町の既設校について、旧市の施設整備状況に合わせるために施設整備を行う。 【対象者】鹿児島市立小中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・校舎手摺整備、門扉整備、外周フェンス整備、便器清掃	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 52,867 （内訳） ・決算額 49,471 ・人件費 3,396 （0.80人）	[概算コスト] 109,114 （内訳） ・予算額 105,634 ・人件費 3,480 （0.80人）	事業対象小中学校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 33 [実績値] 33 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 20	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	—	F	F	**終了** （理由） 旧5町の既設校について、旧市の施設整備状況に合わせるための施設整備が19年度で完了予定であることから、事業を終了する。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
43	施設維持・管理	校内設備整備事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　昭和46年度 【概　要】小・中学校における特別教室及び屋内運動場等の老朽化した備品の買い替え 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・児童生徒用机、椅子、学校放送設備及び特別教室等の備品の買い替え	市単	[概算コスト] 51,376 （内訳） ・決算額 51,248 ・人件費 128 （0.03人）	[概算コスト] 66,658 （内訳） ・決算額 66,531 ・人件費 127 （0.03人）	[概算コスト] 66,821 （内訳） ・決算額 66,694 ・人件費 127 （0.03人）	[概算コスト] 70,539 （内訳） ・予算額 70,408 ・人件費 131 （0.03人）	全小中学校実施校数 （単位：校）	[目標値] 90 [実績値] 90 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 116 [実績値] 116 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 117 [実績値] 117 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 117	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 小・中学校の教育環境を整え、教育効果を高めるために、必要な事業である。
44	施設維持・管理	特別支援学級教材等整備事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　昭和56年度 【概　要】心身に障害のある児童生徒の障害の種類、程度及び適性に応じた適切な教育を行い、児童生徒の能力を最大限に伸ばし可能な限り積極的に社会参加、自立する人間の育成に努めることができるよう教育環境を整備する。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・新設された特別支援学級の教材、教具の整備	市単	[概算コスト] 4,764 （内訳） ・決算額 4,679 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 3,213 （内訳） ・決算額 3,128 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 4,607 （内訳） ・決算額 4,522 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 7,198 （内訳） ・予算額 7,111 ・人件費 87 （0.02人）	新設特別支援学級数 （単位：学級数）	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 14 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 心身に障害のある児童生徒の教育環境を整え、教育効果を高めるために、必要な事業である。
45	施設維持・管理	特別教室等内部設備充実事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　昭和60年度 【概　要】校舎及び屋内運動場の増築、大規模改造等に伴い、必要な備品等を整備するもの。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・消火器・ステージ幕・カーテン等の購入	市単	[概算コスト] 13,280 （内訳） ・決算額 13,195 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 9,021 （内訳） ・決算額 8,894 ・人件費 127 （0.03人）	[概算コスト] 8,204 （内訳） ・決算額 8,077 ・人件費 127 （0.03人）	[概算コスト] 10,193 （内訳） ・予算額 10,062 ・人件費 131 （0.03人）	増築及び大規模改造校数 （単位：校）	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 特別教室等の機能の維持、充実により、教育環境を整備し、教育効果を高めるため、必要な事業である。
46	助成・育成	遠距離通学費補助事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　平成9年度 【概　要】市立の小・中学校に公共交通機関を利用して通学する遠距離通学児童・生徒の通学費を補助し、当該児童・生徒保護者の経済的負担の軽減を図る。 【対象者】遠距離通学小・中学生の保護者 【具体的な活動内容】 片道の通学距離が小学生で4km以上、中学生で6km以上（喜入地区は4km以上）で、公共交通機関を利用して通学する（喜入地区の小・中学生については徒歩・自転車で通学する者を含む。）児童・生徒の保護者に対して、1ヵ月の定期券購入額を限度として補助金を交付	市単	[概算コスト] 5,465 （内訳） ・決算額 5,166 ・人件費 299 （0.07人）	[概算コスト] 18,483 （内訳） ・決算額 17,507 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 18,952 （内訳） ・決算額 17,976 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 20,718 （内訳） ・予算額 19,717 ・人件費 1,001 （0.23人）	補助金交付者数 （単位：人）	[目標値] 266 [実績値] 266 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 450 [実績値] 425 〈達成率〉 94.4%	[目標値] 448 [実績値] 419 〈達成率〉 93.5%	[目標値] 419	保護者の経済的負担の軽減	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	△	◎	◎	◎	◎	－	Ba	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 保護者の経済的負担の軽減により就学を支援することは必要であるが、補助要件が全市的に統一されておらず公平性に欠くことから、補助要件を統一するべきである。
47	施設維持・管理	野外活動施設整備事業	教育委員会 少年自然の家	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】野外活動施設（アスレチック等）利用者の安全確保等のため、施設の新設・改造・補修等を行う。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ① アスレチック施設の整備・補修 ② ミニアスレチックの設置 ③ アスレチック通路の整備（橋の設置） ④ 地下壕の封鎖 ⑤ その他屋外施設の整備	市単	[概算コスト] 3,477 （内訳） ・決算額 917 ・人件費 2,560 （0.60人）	[概算コスト] 2,830 （内訳） ・決算額 920 ・人件費 1,910 （0.45人）	[概算コスト] 2,445 （内訳） ・決算額 747 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,743 （内訳） ・予算額 785 ・人件費 1,958 （0.45人）	施設維持に係る消耗品等の費用 （単位：千円）	[目標値] 950 [実績値] 917 〈達成率〉 96.5%	[目標値] 935 [実績値] 920 〈達成率〉 98.4%	[目標値] 785 [実績値] 747 〈達成率〉 95.2%	[目標値] 785	施設等の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 体験活動・体力づくりの施設として設置した施設であり、利用者の安全に配慮した維持・管理が必要である。
48	施設維持・管理	教材整備事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　昭和23年度 【概　要】市立高校における教材、教具の整備等に要する経費 【対象者】生徒 【具体的な活動内容】 ・以下の教材、教具等の購入 教材用一般消耗品、実験実習材料費、教師用教科書・指導書 図書教育機器消耗品、教材用コピー料金、教材用備品修繕料 教材用備品、理科教育用備品	国補助	[概算コスト] 33,430 （内訳） ・決算額 32,790 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 29,856 （内訳） ・決算額 29,219 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 30,163 （内訳） ・決算額 29,526 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 28,590 （内訳） ・予算額 27,937 ・人件費 653 （0.15人）	整備学校数 （単位：校）	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 機材・教具を購入し、市立高等学校の教育環境を整備充実することにより、教育効果を高めていくため、必要な事業である。
49	助成・育成	市立高等学校就職サポート事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】市立高等学校新規卒業者の雇用を創出するとともに、生徒の勤労観・職業観の育成に努める。 【対象者】市立高校の就職希望者 【具体的な活動内容】 ・市立高校に就職支援員を配置し、求人開拓に努めるとともに、生徒への訪問指導や情報提供等の業務を行う。	市単	[概算コスト] 2,344 （内訳） ・決算額 2,344 ・人件費 43 （0.01人）	[概算コスト] 2,324 （内訳） ・決算額 2,324 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 2,252 （内訳） ・決算額 2,252 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 2,353 （内訳） ・予算額 2,353 ・人件費 44 （0.01人）	就職支援員数 （単位：人）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	市立3高校就職内定率 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 就職希望者の内定確保のために必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち

第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	妥当性 指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
50	社会基盤・都市施設基盤	鹿児島玉龍中高一貫教育校整備事業	教育委員会 学務課 施設課 保健体育課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】鹿児島玉龍高等学校に中高一貫教育を実施するための中学校を併設し、市民の中学校教育の選択幅を拡大する。 【対象者】 一部市民（学生） 【具体的な活動内容】 ・校舎改修工事 ・ふれあい棟（仮称）の設計委託及び新築工事 ・教材・教具・備品等の購入 ・玉龍中学校の入学者選抜の実施 ・屋内運動場（共用屋内プールを含む）の設計委託及び新築工事	国補助	[概算コスト] 25,910 （内訳） ・決算額 20,791 ・人件費 5,119 （1.20人）	[概算コスト] 538,979 （内訳） ・決算額 516,905 ・人件費 22,074 （5.20人）	[概算コスト] 255,122 （内訳） ・決算額 246,632 ・人件費 8,490 （2.00人）	[概算コスト] 289,868 （内訳） ・予算額 288,128 ・人件費 1,740 （0.40人）	設計業務委託件数 （単位：件）	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 特色ある学校づくりのため必要な事業である。
51	施設維持・管理	施設整備単独事業（高等学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　昭和63年度 【概　要】既設校の校舎及び屋内運動場の維持改修、倉庫等の設置並びに校庭整地等を行い、教育環境の整備充実を図る。 【対象者】鹿児島市立高等学校の生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・既設校舎、屋内運動場等の維持改修。倉庫等の設置。校庭整地。	市単	[概算コスト] 17,366 （内訳） ・決算額 16,897 ・人件費 469 （0.11人）	[概算コスト] 11,963 （内訳） ・決算額 11,708 ・人件費 255 （0.06人）	[概算コスト] 14,967 （内訳） ・決算額 14,585 ・人件費 382 （0.09人）	[概算コスト] 20,907 （内訳） ・予算額 20,341 ・人件費 566 （0.13人）	全高等学校 （単位：校）	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 生徒の安全性の確保や教育環境の向上を図るため、校舎・屋内運動場の維持改修等は継続して実施する必要がある。
52	社会基盤・都市施設基盤	校舎・屋体等建設事業（高等学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　昭和60年度 【概　要】建築後、概ね30年を経過したRC造の校舎及び屋体の増改築又は大規模改造を行う。 【対象者】鹿児島市立高等学校の生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・校舎及び屋体の増改築又は大規模改造	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 3,673 （内訳） ・決算額 3,248 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 4,394 （内訳） ・予算額 3,959 ・人件費 435 （0.10人）	校舎地震補強に係る補強設計実施棟数 （単位：棟）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 生徒の安全性や災害時の避難所機能の確保のため、必要に応じ、継続して実施する必要がある。
53	施設維持・管理	高等学校外壁改修事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成3年度 【概　要】校舎等の外壁剥落による事故防止及び耐震診断・耐震補強工事を実施し、生徒等の安全を確保する。 【対象者】鹿児島市立高等学校の生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・外壁調査：校舎・屋体の外壁を調査し、剥落の危険性を判断 ・外壁補修・改修：外壁調査の結果により剥落の危険性の高い校舎等について必要な補修改修を行う。 ・耐震診断・補強：外壁補修・改修にあわせて、耐震診断・補強を行っていない校舎等について行う。	市単	[概算コスト] 3,565 （内訳） ・決算額 3,480 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 72,954 （内訳） ・決算額 72,317 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 10,385 （内訳） ・決算額 5,333 ・人件費 5,052 （1.19人）	[概算コスト] 50,174 （内訳） ・予算額 43,170 ・人件費 7,004 （1.61人）	事業対象高等学校数 （単位：校）	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 外壁剥離事故の防止及び地震に対する安全性の確保のため、外壁の剥落の危険性の高い建物は、適宜、補修・改修を行う必要がある。
54	社会基盤・都市施設基盤	学校クーラー設置事業（高等学校費）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成4年度 【概　要】夏季の降灰時期も快適な教育環境を確保するため、降灰対策として高等学校の特別教室等にクーラーを設置する。 【対象者】生徒 【具体的な活動内容】 ・高等学校の特別教室等にクーラーを設置する。	国補助	[概算コスト] 6,256 （内訳） ・決算額 5,829 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,721 （内訳） ・決算額 1,296 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 50,745 （内訳） ・決算額 50,320 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 9,323 （内訳） ・予算額 8,888 ・人件費 435 （0.10人）	特別教室等設置校数 （単位：校）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 夏季の降灰時期も快適な教育環境を確保するために降灰対策として高等学校の特別教室等にクーラーを設置することは必要である。
55	助成・育成	鹿児島市奨学資金事業	教育委員会 総務課	○事業開始年度　昭和25年度 【概　要】向学心に燃えその能力が十分であるにもかかわらず、経済的理由により修学困難である高校生等又はその保護者に対して奨学資金を貸与するものである。 【対象者】高等学校等に在学する者又はその保護者 【具体的な活動内容】・鹿児島市奨学資金貸付基金の貸付 奨学金　国公立 月額 18,000円 私　立 月額 30,000円 入学一時金 国公立 40,000円 私　立 100,000円	市単	[概算コスト] 31,519 （内訳） ・決算額 28,106 ・人件費 3,413 （0.80人）	[概算コスト] 31,454 （内訳） ・決算額 28,058 ・人件費 3,396 （0.80人）	[概算コスト] 36,334 （内訳） ・決算額 32,938 ・人件費 3,396 （0.80人）	[概算コスト] 39,486 （内訳） ・予算額 36,006 ・人件費 3,480 （0.80人）	貸付金額 （単位：千円）	[目標値] 38,168 [実績値] 28,106 〈達成率〉 73.6%	[目標値] 38,168 [実績値] 28,058 〈達成率〉 73.5%	[目標値] 38,168 [実績値] 32,938 〈達成率〉 86.3%	[目標値] 38,168	有用な人材の育成	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 有用な人材育成を図るため本制度は必要であるが、滞納額が高額となっていることから、制度継続のためには、滞納の理由などを十分分析し、市による積極的な督促や法的措置などの対応を検討すべきである。
56	助成・育成	私立高等学校補助事業	総務局 総務課	○事業開始年度　昭和28年度 【概　要】市内に所在する私立高等学校の教職員の研修又は教材等充実のため助成し、私立高等学校の振興に寄与する。 【対象者】4月１日現在、市内に所在する私立学校を設置する学校法人 【具体的な活動内容】 ・市内に所在する私立高等学校9校に、 ①教職員の研究費及び研修費 ②研究材料費及び教材費 を助成する。	市単	[概算コスト] 24,127 （内訳） ・決算額 23,700 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 24,125 （内訳） ・決算額 23,700 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 22,925 （内訳） ・決算額 22,500 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 22,935 （内訳） ・予算額 22,500 ・人件費 435 （0.10人）	市内の学校法人立の私立高等学校数 （単位：校）	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9	教職員の資質向上及び教材充実等による私学振興	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 私立高等学校の振興に寄与するため、教職員研修等に助成することは必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
57	助成・育成	中・高等学校運動部活動活性化事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成10年度 【概　要】運動部活動の専門的な指導者を必要とする市立中・高等学校に指導協力者を派遣する。 【対象者】市立中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・指導協力者の派遣（中学校32名　高校6名） ・指導協力者に対する研修会（年1回）	市単	[概算コスト] 8,466 （内訳） ・決算額 7,058 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 9,063 （内訳） ・決算額 7,662 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 8,303 （内訳） ・決算額 6,902 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 8,343 （内訳） ・予算額 6,907 ・人件費 1,436 （0.33人）	派遣者数 （単位：人）	[目標値] 35 [実績値] 35 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38 [実績値] 38 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38 [実績値] 38 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38	1人当たりの指導実施回数 （単位：回／人）	[目標値] 50 [実績値] 50 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 45 [実績値] 45 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 45	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 学校運動部の活動活性化及び競技力向上のために必要である。
58	助成・育成	学校体育団体等育成事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和55年度 【概　要】小・中学校体育連盟運営費等への助成及び中・高等学校運動部の県外遠征費等への助成 【対象者】小・中学校体育連盟、中・高等学校運動部 【具体的な活動内容】 ・各団体及び大会に対し補助金を交付する。	市単	[概算コスト] 18,763 （内訳） ・決算額 17,355 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 20,036 （内訳） ・決算額 18,635 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 21,700 （内訳） ・決算額 20,299 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 21,992 （内訳） ・予算額 20,556 ・人件費 1,436 （0.33人）	補助金交付額 （単位：千円）	[目標値] 18,443 [実績値] 16,906 〈達成率〉 91.7%	[目標値] 19,237 [実績値] 18,635 〈達成率〉 96.9%	[目標値] 19,987 [実績値] 19,237 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 20,556	各交付団体の円滑な運営	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 市立小中高等学校の学校体育関係団体が行うスポーツ振興活動については円滑な運営と事業を推進するため、引き続き助成すべきである。
59	助成・育成	学校保健活動推進事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和55年度 【概　要】学校・地域社会・医療機関等を融合した中で、学校保健活動を推進するため、市学校保健会へ助成する。 【対象者】児童生徒 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市学校保健研究協議大会の開催 ・地区学校保健研究協議会の開催 ・学校保健優良学校等の表彰	市単	[概算コスト] 4,408 （内訳） ・決算額 3,000 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 4,601 （内訳） ・決算額 3,200 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 4,601 （内訳） ・決算額 3,200 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 4,636 （内訳） ・予算額 3,200 ・人件費 1,436 （0.33人）	補助金 （単位：千円）	[目標値] 3,000 [実績値] 3,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,200 [実績値] 3,200 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,200 [実績値] 3,200 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,200	地区学校保健協議会参加人数 （単位：人）	[目標値] 918 [実績値] 1,847 〈達成率〉 201.2%	[目標値] 924 [実績値] 1,903 〈達成率〉 206.0%	[目標値] 924 [実績値] 1,795 〈達成率〉 194.3%	[目標値] 924	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 学校保健活動を推進し、児童生徒の心身の健康問題に対処するために必要である。
60	助成・育成	学校給食活動推進事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和45年度 【概　要】学校給食の充実を図り、学校給食の運営及び食生活に関する諸問題を調査研究するため、市学校給食協議会へ助成する。 【対象者】市内の全児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・学校給食及び食生活に関する調査研究 ・学校給食研究誌の発行 ・学校給食作文募集	市単	[概算コスト] 1,614 （内訳） ・決算額 206 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 1,607 （内訳） ・決算額 206 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 1,607 （内訳） ・決算額 206 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 1,642 （内訳） ・予算額 206 ・人件費 1,436 （0.33人）	補助金 （単位：千円）	[目標値] 206 [実績値] 206 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 206 [実績値] 206 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 206 [実績値] 206 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 206	学校給食実施校の児童・生徒数 （単位：人）	[目標値] 47,469 [実績値] 47,469 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 51,831 [実績値] 51,831 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 51,180 [実績値] 51,180 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 50,595	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 学校給食の円滑な運営及び児童生徒への食に関する指導を充実するため、助成すべきである。
61	施設維持・管理	学校生ごみの資源化・減量化推進事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成12年度 【概　要】学校に生ごみ処理機を設置し、学校給食から出る生ごみの資源化・減量化を図る。 【対象者】学校給食自校方式校 【具体的な活動内容】 ・学校に設置した生ごみ処理機の維持・管理を行う。	市単	[概算コスト] 1,686 （内訳） ・決算額 278 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 1,584 （内訳） ・決算額 183 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 1,651 （内訳） ・決算額 250 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 1,836 （内訳） ・予算額 400 ・人件費 1,436 （0.33人）	生ごみ投入量 （単位：Kg）	[目標値] 7,726 [実績値] 7,726 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7,581 [実績値] 7,581 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7,799 [実績値] 7,799 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7,799	生ごみ減量量及び堆肥活用量 （単位：Kg）	[目標値] 7,726 [実績値] 5,714 〈達成率〉 74.0%	[目標値] 7,581 [実績値] 5,567 〈達成率〉 73.4%	[目標値] 7,799 [実績値] 5,788 〈達成率〉 74.2%	[目標値] 7,799	△	◎	○	△	△	◎	○	△	△	－	Ba	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 成果指標における生ごみ減量量などの活用量が目標より低い状況で推移していることから、事業の効果を検証し、環境教育に活用するなど生ごみ処理機の活用策を検討する必要がある。
62	啓発・広報	性教育推進事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】小・中・高等学校の性教育の充実を図るため、産婦人科・泌尿器科の医師や助産師等を講師として派遣し、性に関する講演会を実施する。 【対象者】児童生徒・教職員・保護者 【具体的な活動内容】 ・産婦人科・泌尿器科の医師や助産師等の講師派遣	市単	[概算コスト] 1,968 （内訳） ・決算額 560 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 2,213 （内訳） ・決算額 812 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 2,171 （内訳） ・決算額 770 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 2,290 （内訳） ・予算額 854 ・人件費 1,436 （0.33人）	派遣講師数 （単位：人）	[目標値] 48 [実績値] 41 〈達成率〉 85.4%	[目標値] 61 [実績値] 66 〈達成率〉 108.2%	[目標値] 61 [実績値] 55 〈達成率〉 90.2%	[目標値] 61	受講者数 （単位：人）	[目標値] 11,000 [実績値] 10,256 〈達成率〉 93.2%	[目標値] 13,000 [実績値] 13,505 〈達成率〉 103.9%	[目標値] 11,000 [実績値] 10,035 〈達成率〉 91.2%	[目標値] 13,000	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 10代の性感染症や人工妊娠中絶など性に関する課題を解決するため、継続して実施する必要がある。
63	施設維持・管理	学校給食センター施設設備機器整備事業	教育委員会 中央学校給食センター	○事業開始年度　平成10年度 【概　要】 老朽化した施設設備、及び大型調理機等を計画的に更新することにより学校給食の円滑な推進と衛生管理の充実、異物混入防止及び食中毒発生防止に努め、安心安全で衛生的な給食を提供する。 【対象者】 小・中学校の児童生徒の一部 【具体的な活動内容】 ・学校給食センターの老朽化した施設設備や大型調理機等を計画的に更新する。	市単	[概算コスト] 6,827 （内訳） ・決算額 6,230 ・人件費 597 （0.14人）	[概算コスト] 29,420 （内訳） ・決算額 27,297 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 42,988 （内訳） ・決算額 40,229 ・人件費 2,759 （0.65人）	[概算コスト] 39,023 （内訳） ・予算額 36,413 ・人件費 2,610 （0.60人）	大型備品の購入件数 （単位：件）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	給食センターの機能の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能等を維持するために必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
64	社会基盤・都市施設基盤	学校プール整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】プールの新設や老朽化したプールを改修することにより、学校教育の充実を図る。 【対象者】市立小・中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・プールの新設及び改修	国補助	[概算コスト] 149,719 （内訳） ・決算額 148,311 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 76,928 （内訳） ・決算額 75,527 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 2,554 （内訳） ・決算額 1,153 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 40,736 （内訳） ・予算額 39,300 ・人件費 1,436 （0.33人）	設計業務委託件数 （単位：件）	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	水泳学習環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 水泳学習を安全に、かつ衛生的に進めるため、プールの改修・新設は必要である。
65	施設維持・管理	小・中学校体育施設整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】老朽化等により使用に支障をきたす体育施設・遊具の更新 【対象者】市立小・中学校 【具体的な活動内容】 ・老朽化した施設を整備し、安全性を高める。 ・施設及びその配置の瑕疵による事故防止を図る。	市単	[概算コスト] 15,615 （内訳） ・決算額 14,207 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 10,796 （内訳） ・決算額 9,395 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 11,817 （内訳） ・決算額 10,416 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 5,610 （内訳） ・予算額 4,174 ・人件費 1,436 （0.33人）	整備数 （単位：校）	[目標値] 14 [実績値] 14 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 安全で良好な教育環境を維持するために必要である。
66	施設維持・管理	学校既設プール附帯施設等の整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】ろ過機の取替やプールの防水塗装等プール附帯施設の整備を行うことにより、教育環境の充実を図る。 【対象者】市立小・中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・ろ過機等附帯施設の取替 ・プール防水塗装	市単	[概算コスト] 44,826 （内訳） ・決算額 43,418 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 27,126 （内訳） ・決算額 25,725 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 23,661 （内訳） ・決算額 22,260 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 29,111 （内訳） ・予算額 27,675 ・人件費 1,436 （0.33人）	整備数 （単位：校）	[目標値] 19 [実績値] 19 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 安全で良好な教育環境を維持するために必要である。
67	社会基盤・都市施設基盤	中学校柔剣道場整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和60年度 【概　要】柔剣道場の整備及び老朽化した施設の改修を行うことにより、教育環境の充実を図る。 【対象者】市立中学校 【具体的な活動内容】 ・未設置校への整備 ・既存施設の改修	国補助	[概算コスト] 18,502 （内訳） ・決算額 17,094 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 95,093 （内訳） ・決算額 93,692 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 15,858 （内訳） ・決算額 14,457 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 83,506 （内訳） ・予算額 82,070 ・人件費 1,436 （0.33人）	整備数 （単位：校）	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の安全性を確保するとともに、生徒の体力運動能力の向上を図るため、施設の補修等は必要である。
68	施設維持・管理	市立高等学校体育施設整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】市立高等学校の体育施設の整備・改修を行うことにより、教育環境の充実を図る。 【対象者】市立高等学校 【具体的な活動内容】 ・各種体育施設の整備、改修	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 14,001 （内訳） ・決算額 12,600 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 3,869 （内訳） ・決算額 2,468 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 9,224 （内訳） ・予算額 7,788 ・人件費 1,436 （0.33人）	整備数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の安全性を確保するとともに、生徒の体力運動能力の向上を図るため、施設の改修等は必要である。
69	社会基盤・都市施設基盤	プールサイドテント整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】水泳学習中の休息時や見学者、開放時の保護者・監視員の日除け用としてプールサイドにテントを整備する。 【対象者】市立小・中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・紫外線対策として、日除け用テントを設置する。	市単	[概算コスト] 10,250 （内訳） ・決算額 8,842 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 10,239 （内訳） ・決算額 8,838 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 6,303 （内訳） ・決算額 4,902 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 4,556 （内訳） ・予算額 3,120 ・人件費 1,436 （0.33人）	設置校数 （単位：校）	[目標値] 28 [実績値] 28 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 22 [実績値] 22 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12	設置校の児童生徒数 （単位：人）	[目標値] 17,353 [実績値] 17,353 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8,156 [実績値] 8,156 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10,031 [実績値] 10,031 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6,782	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	F	F	**終了** （理由） 全小・中・高等学校を対象とした事業であり、整備計画が完了するため終了する。
70	社会基盤・都市施設基盤	AED配備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】児童生徒の突然の心停止に備えるためAED（自動体外式除細動器）を配備する。 【対象者】市立小・中学校 【具体的な活動内容】 ・市立小・中学校へAEDを配備する。	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 8,826 （内訳） ・決算額 7,425 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 9,626 （内訳） ・予算額 8,190 ・人件費 1,436 （0.33人）	配備校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 38 [実績値] 38 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 39	安全な学校教育の推進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） より安全な学校教育推進のため必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
71	内部管理	学校職員健康管理事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】衛生委員会等を設置し、嘱託医等を配置して職員の保健管理等について指導・助言する。 【対象者】学校職員 【具体的な活動内容】 ・嘱託医、健康管理医の任命と報酬の支払い ・学校職員の健康診断の実施	市単	[概算コスト] 4,335 （内訳） ・決算額 2,927 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 4,507 （内訳） ・決算額 3,106 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 4,423 （内訳） ・決算額 3,022 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 5,046 （内訳） ・予算額 3,610 ・人件費 1,436 （0.33人）	嘱託医執務状況 （単位：回）	[目標値] 132 [実績値] 132 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 108 [実績値] 94 〈達成率〉 87.0%	[目標値] 108 [実績値] 101 〈達成率〉 93.5%	[目標値] 108	教職員の資質向上	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 教職員等の日常の健康管理を徹底するために必要である。
72	助成・育成	特別支援教育の推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成5年度 【概　要】障害のある児童生徒の社会参加・社会自立を図るととに、特別支援教育の理解、啓発を図る。 【対象者】障害のある児童生徒 【具体的な活動内容】 ・交流教育 ・合同宿泊学習 ・合同遠足 ・事業所訪問	市単	[概算コスト] 2,187 （内訳） ・決算額 1,547 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 1,993 （内訳） ・決算額 1,356 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 1,851 （内訳） ・決算額 1,214 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 1,981 （内訳） ・予算額 1,328 ・人件費 653 （0.15人）	交流学習参加校数 （単位：校）	[目標値] 21 [実績値] 21 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 16 [実績値] 16 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 14	交流教育を有意義と感じた児童生徒数 （単位：人）	[目標値] 637 [実績値] 637 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 475 [実績値] 475 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 654 [実績値] 654 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 660	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 集団での活動を通じて、社会性を培ったり、感動的な体験をしたりすることで、個々の児童生徒の発達を促すために必要である。
73	助成・育成	就学指導奨励事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】障害のある幼児・児童生徒の適切な就学判断及び就学措置を行う。 【対象者】障害のある幼児・児童生徒、保護者 【具体的な活動内容】 ・就学教育相談 ・就学指導委員会 ・ことばの検査	市単	[概算コスト] 3,600 （内訳） ・決算額 3,173 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 4,223 （内訳） ・決算額 3,798 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 4,718 （内訳） ・決算額 4,081 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 4,577 （内訳） ・予算額 3,924 ・人件費 653 （0.15人）	障害児就学指導委員会の開催数 （単位：回）	[目標値] 7 [実績値] 8 〈達成率〉 114.3%	[目標値] 7 [実績値] 8 〈達成率〉 114.3%	[目標値] 7 [実績値] 8 〈達成率〉 114.3%	[目標値] 7	就学判断に基づいて就学した人数 （単位：人）	[目標値] 335 [実績値] 305 〈達成率〉 91.0%	[目標値] 364 [実績値] 314 〈達成率〉 86.3%	[目標値] 372 [実績値] 329 〈達成率〉 88.4%	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 障害のある児童・生徒一人一人にあった教育的ニーズに対応するため、適正な就学判断及び就学措置を行う必要がある。
74	助成・育成	特別支援教育体制充実事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】LD,ADHD,高機能自閉症を含む障害のある全ての児童生徒が個々のニーズに応じた支援を受けることができるような特別支援教育体制の充実を図る。 【対象者】障害のある児童生徒、保護者、学校職員、関係機関 【具体的な活動内容】 ・関係機関との連携（市特別支援連携協議会） ・学校職員等の研修 ・巡回相談事業	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 2,649 （内訳） ・決算額 2,012 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 1,765 （内訳） ・予算額 1,112 ・人件費 653 （0.15人）	市特別支援連携協議会開催数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	関係機関の連携	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	○	○	－	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 関係機関との連携を強化し、特別支援教育の体制充実を図るため必要な事業である。
75	助成・育成	特別支援教育指導員配置事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】教育上特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、特別支援教育に係る専門的知識や経験を有する特別支援教育指導員を配置することにより、実情に応じた支援を行う。 【対象者】特別な配慮を必要とする児童生徒 【具体的な活動内容】 ・特別支援教育指導員を雇用し、配置する。	市単	[概算コスト] 9,041 （内訳） ・決算額 8,614 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 26,516 （内訳） ・決算額 26,091 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 25,966 （内訳） ・決算額 25,541 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 35,154 （内訳） ・予算額 35,154 ・人件費 435 （0.10人）	指導員が支援を行った総時間数（長期休業中を除く） （単位：時間）	[目標値] 5,433 [実績値] 5,099 〈達成率〉 93.9%	[目標値] 16,387 [実績値] 16,074 〈達成率〉 98.1%	[目標値] 16,646 [実績値] 16,587 〈達成率〉 99.6%	[目標値] 22,425	指導員から支援を受けた児童生徒一人当たりの時間数 （単位：時間）	[目標値] 155 [実績値] 146 〈達成率〉 94.2%	[目標値] 180 [実績値] 177 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 173 [実績値] 172 〈達成率〉 99.4%	[目標値] 129	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 特別支援教育の充実のため必要な事業である。
76	社会基盤・都市施設基盤	特別支援学級施設設備の整備事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成5年度 【概　要】障害のある児童生徒の発達やその種類・程度及び適性に応じた教育を行うために特別支援学級等を整備する。 【対象者】障害のある児童生徒 【具体的な活動内容】 ・教育環境の整備	市単	[概算コスト] 9,310 （内訳） ・決算額 9,097 ・人件費 213 （0.05人）	[概算コスト] 13,263 （内訳） ・決算額 13,051 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 14,271 （内訳） ・決算額 14,059 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 11,418 （内訳） ・予算額 11,200 ・人件費 218 （0.05人）	施設設備を行った学校数 （単位：校）	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 特別支援学級の施設整備のため必要な事業である。
77	施設維持・管理	院内学級の充実・推進事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成9年度 【概　要】市立病院に病気療養のため入院している児童生徒の教育の充実を図るため、院内学級の教育機器や教材備品、消耗品など教育環境の整備を図る。 【対象者】市立病院に2週間以上入院している児童生徒 【具体的な活動内容】 ・備品や消耗品、図書を購入する。	市単	[概算コスト] 401 （内訳） ・決算額 188 ・人件費 213 （0.05人）	[概算コスト] 394 （内訳） ・決算額 182 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 432 （内訳） ・決算額 220 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 424 （内訳） ・予算額 206 ・人件費 218 （0.05人）	備品や消耗品、図書の購入件数 （単位：件）	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	院内学級在籍児童生徒の教育活動の充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 院内学級の充実・支援のため必要な事業である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
78	市民サービス	青年会館事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和62年度 【概　要】青年の生活、教養、文化の向上を図るため、青年の団体活動を推進し、会館の利用や講座・研修会を開催する。 【対象者】学生、勤労者 【具体的な活動内容】 ・青年会館講座等の実施	市単	[概算コスト] 951 （内訳） ・決算額 524 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,390 （内訳） ・決算額 965 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 1,093 （内訳） ・決算額 668 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 1,012 （内訳） ・予算額 577 ・人件費 435 （0.10人）	青年会館講座数 （単位：講座）	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	青年会館講座の延受講者数 （単位：人）	[目標値] 1,200 [実績値] 767 〈達成率〉 63.9%	[目標値] 1,200 [実績値] 1,124 〈達成率〉 93.7%	[目標値] 1,200 [実績値] 916 〈達成率〉 76.3%	[目標値] 1,200	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 青年の仲間づくりや生涯学習の支援のために必要である。
79	施設維持・管理	宮川野外活動センター整備事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】宿泊体験や野外活動などが楽しく安全に実施できるよう、施設・設備を整備する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・16年度：体育館水銀灯取替、冷凍冷蔵庫購入 ・17年度：プールラダーハンドル取替、ファックス・コピー複合機購入 ・18年度：宿泊棟網戸取替、車椅子用スロープ購入	市単	[概算コスト] 647 （内訳） ・決算額 220 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,102 （内訳） ・決算額 677 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 776 （内訳） ・決算額 351 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 1,715 （内訳） ・予算額 1,280 ・人件費 435 （0.10人）	施設修繕費・備品購入費 （単位:千円）	[目標値] 232 [実績値] 232 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 753 [実績値] 753 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 360 [実績値] 360 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1,280	施設・備品の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の特性を生かしたイベント等を開催しており、所要の施設環境を維持するために必要である。
80	助成・育成	子ども会育成事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和36年度 【概　要】あいご会、子ども会の組織の拡充や活動の強化を図るため、あいご主事の資質を高める。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・あいご会、子ども会の組織の充実や活動の強化を図るために、あいご主事や子ども会リーダーの育成に資する研修会を開催する。	市単	[概算コスト] 8,817 （内訳） ・決算額 7,537 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 9,596 （内訳） ・決算額 8,322 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 9,598 （内訳） ・決算額 8,324 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 9,660 （内訳） ・予算額 8,355 ・人件費 1,305 （0.30人）	あいご講座開催回数 （単位：回）	[目標値] 59 [実績値] 58 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78 [実績値] 78 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 78	あいご講座受講者数 （単位：人）	[目標値] 2,700 [実績値] 2,789 〈達成率〉 103.3%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,790 〈達成率〉 108.3%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,395 〈達成率〉 97.0%	[目標値] 3,500	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） ２～３年毎に変わるあいご主事の資質を維持し、あいご会・子ども会活動の充実を図るために必要である。
81	市民サービス	青年教養セミナーの開設事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和30年度 【概　要】各種学習活動をとおして、青年の社会参加と地域づくりへの参加を推進する。 【対象者】学生、勤労者 【具体的な活動内容】 ・講義、講話、演習、スポーツ・レクリエーション	市単	[概算コスト] 1,883 （内訳） ・決算額 1,030 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 1,787 （内訳） ・決算額 938 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 1,704 （内訳） ・決算額 855 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 1,803 （内訳） ・予算額 933 ・人件費 870 （0.20人）	開設セミナー数 （単位：セミナー）	[目標値] 8 [実績値] 10 〈達成率〉 125.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	受講者数 （単位：人）	[目標値] 120 [実績値] 175 〈達成率〉 145.8%	[目標値] 120 [実績値] 136 〈達成率〉 113.3%	[目標値] 120 [実績値] 146 〈達成率〉 121.7%	[目標値] 120	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 若年層が社会性を身につけ、生涯学習に取り組むために必要である。
82	助成・育成	青少年教育指導者の養成事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】青少年団体の指導的役割を果たす者を発掘・育成するために研修会を開催する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・少年団体成人指導者研修会、青年団体指導者研修会	市単	[概算コスト] 1,650 （内訳） ・決算額 370 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 1,508 （内訳） ・決算額 234 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 1,508 （内訳） ・決算額 234 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 1,513 （内訳） ・予算額 208 ・人件費 1,305 （0.30人）	開催回数 （単位：回）	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9	受講者数 （単位：人）	[目標値] 140 [実績値] 162 〈達成率〉 115.7%	[目標値] 180 [実績値] 201 〈達成率〉 111.7%	[目標値] 180 [実績値] 211 〈達成率〉 117.2%	[目標値] 180	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 青少年の健全育成を図るため、社会教育団体から指導的役割を果たす者を発掘・養成し、民間有志指導者として青少年教育の場での活動を促進する必要がある。
83	イベント	新成人のつどい事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和28年度 【概　要】新成人のつどいの開催 【対象者】新成人 【具体的な活動内容】 ・新成人による実行委員会組織を整備し、若者の企画を生かした集いの実施と関係機関・団体との連携による式典等を開催する。	市単	[概算コスト] 6,422 （内訳） ・決算額 3,436 ・人件費 2,986 （0.70人）	[概算コスト] 6,141 （内訳） ・決算額 3,169 ・人件費 2,972 （0.70人）	[概算コスト] 7,021 （内訳） ・決算額 4,049 ・人件費 2,972 （0.70人）	[概算コスト] 6,500 （内訳） ・予算額 3,455 ・人件費 3,045 （0.70人）	開催回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	参加者数 （単位：人）	[目標値] 6,500 [実績値] 5,500 〈達成率〉 84.6%	[目標値] 6,500 [実績値] 5,700 〈達成率〉 87.7%	[目標値] 5,500 [実績値] 5,000 〈達成率〉 90.9%	[目標値] 5,500	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 新成人への祝意を表すつどいの開催は、新成人に社会人としての責任や義務を自覚させる上で有効な事業である。
84	イベント	九州都市中学生交流大会派遣事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成5年度 【概　要】九州各都市の中学生が一堂に会し交流大会を開催し、野外での体験活動を中心とした交流活動を通して、豊かな人間関係づくりや、次代を担う青少年としての資質の育成を図る。また、九州各都市との相互の交流・交歓の充実を図る。 【対象者】中学2年生 【具体的な活動内容】 ・6都市（鹿児島、北九州、佐賀、熊本、宮崎、大分）の中学2年生（約250名）と指導者（約70名）が研修センター等で2泊3日の日程で、創作活動やスポーツ活動等を通して交流を深める。	市単	[概算コスト] 3,613 （内訳） ・決算額 2,333 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 3,185 （内訳） ・決算額 1,911 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 2,807 （内訳） ・決算額 1,533 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 3,443 （内訳） ・予算額 2,138 ・人件費 1,305 （0.30人）	大会参加者数 （単位：人）	[目標値] 78 [実績値] 75 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 73 [実績値] 73 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55 [実績値] 55 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 71	青少年の健全育成	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 九州都市との交流により、本市中学生のリーダー性が向上し、学校や地域活動の充実が図られるなど、青少年の健全育成に必要な事業である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事　業　概　要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
85	施設維持・管理	勤労青少年ホーム施設整備事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　昭和49年度 【概　要】充実した講座及びクラブ活動が安全に実施できるよう、施設・設備を整備する。 【対象者】勤労者 【具体的な活動内容】 ・16年度：高圧気中開閉器取替、ウォータークーラー購入 ・17年度：高圧ケーブル取替 ・18年度：キュービクル変圧器及び変流器等取替、パソコン機器購入	市単	[概算コスト] 1,015 （内訳） ・決算額 588 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 919 （内訳） ・決算額 494 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 3,510 （内訳） ・決算額 3,085 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 4,260 （内訳） ・予算額 3,825 ・人件費 435 （0.10人）	施設修繕費・備品購入費 （単位：千円）	[目標値] 588 [実績値] 588 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 494 [実績値] 494 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,085 [実績値] 3,085 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,825	施設・備品の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の設置目的に沿った運営を行なっており、所要の機能を維持するために必要である。
86	助成・育成	青少年ボランティア活動推進事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】青少年のボランティア活動を促進する。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・学校や地域社会、少年団体等における青少年のボランティア活動を促進するために、中学生を対象にボランティア活動の意義や活動の進め方等についての研修会を開催する。	市単	[概算コスト] 616 （内訳） ・決算額 189 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 530 （内訳） ・決算額 105 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 506 （内訳） ・決算額 81 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 540 （内訳） ・予算額 105 ・人件費 435 （0.10人）	開催回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	受講者数 （単位：人）	[目標値] 50 [実績値] 61 〈達成率〉 122.0%	[目標値] 150 [実績値] 151 〈達成率〉 100.7%	[目標値] 150 [実績値] 138 〈達成率〉 92.0%	[目標値] 150	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） ボランティア活動を促進するため、研修会を開催することにより、青少年のボランティア意識の高揚を図るとともに、活動のリーダーを育成する必要がある。
87	啓発・広報	子ども体験活動支援情報誌作成事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】子どもや親子を対象とした体験活動などの情報誌を作成、配布する。 【対象者】児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・情報誌「キッズ通信アクト」を作成、配布し、子どもの体験活動に対する機会や場に関する情報を提供する。	市単	[概算コスト] 2,690 （内訳） ・決算額 1,837 ・人件費 853 （0.20人）	[概算コスト] 2,295 （内訳） ・決算額 1,446 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 2,573 （内訳） ・決算額 1,724 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 2,871 （内訳） ・予算額 2,001 ・人件費 870 （0.20人）	発行回数 （単位：回）	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	発行部数 （単位：部）	[目標値] 55,000 [実績値] 55,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55,000 [実績値] 55,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55,000 [実績値] 55,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55,000	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 体験活動や親子のふれあいの充実を図るため、子どもの体験活動に関する情報の提供が必要である。
88	助成・育成	心豊かで元気あふれる「さつまっ子」育成事業	教育委員会 青少年課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】本市の青少年を市民総ぐるみで育成するための会議の開催、市民運動の推進、研修会等の開催 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・心豊かで元気あふれる「さつまっ子」育成市民会議、明るく楽しい学校づくり市民大会等を開催する。	市単	[概算コスト] 7,703 （内訳） ・決算額 1,304 ・人件費 6,399 （1.50人）	[概算コスト] 7,819 （内訳） ・決算額 1,451 ・人件費 6,368 （1.50人）	[概算コスト] 7,426 （内訳） ・決算額 1,058 ・人件費 6,368 （1.50人）	[概算コスト] 7,699 （内訳） ・予算額 1,174 ・人件費 6,525 （1.50人）	会議・市民大会の回数 （単位：回）	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10	青少年健全育成関係団体間の連携	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 次代の本市を担う青少年の育成を家庭・学校・地域が一体となって取り組むために必要な事業である。
89	イベント	少年自然の家主催事業	教育委員会 少年自然の家	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】青少年や市民に広く学習活動・自然体験の機会を提供し、施設の有効活用と施設利用の拡大を図る。 【対象者】児童・生徒及びその保護者等 【具体的な活動内容】 ・親子ふれあい事業 ・小学生を対象とした事業 ・施設に親しんでもらう事業 ・農作業を体験する事業　など	市単	[概算コスト] 6,069 （内訳） ・決算額 523 ・人件費 5,546 （1.30人）	[概算コスト] 5,317 （内訳） ・決算額 435 ・人件費 4,882 （1.15人）	[概算コスト] 5,291 （内訳） ・決算額 409 ・人件費 4,882 （1.15人）	[概算コスト] 5,498 （内訳） ・予算額 495 ・人件費 5,003 （1.15人）	主催事業実施回数 （単位：回）	[目標値] 46 [実績値] 44 〈達成率〉 95.7%	[目標値] 52 [実績値] 52 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55 [実績値] 53 〈達成率〉 96.4%	[目標値] 41	参加者数 （単位：人）	[目標値] 9,227 [実績値] 7,836 〈達成率〉 84.9%	[目標値] 9,045 [実績値] 8,320 〈達成率〉 92.0%	[目標値] 9,808 [実績値] 9,219 〈達成率〉 94.0%	[目標値] 8,680	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 貴重な自然体験の機会を通じて、子どもたちが豊かな人間性を持ち、自ら学び考える力をつけるために必要である。
90	イベント	ふるさと史跡めぐりと冬のキャンプ事業	教育委員会 少年自然の家	○事業開始年度　平成7年度 【概　要】小・中・高等学校の異年齢の児童・生徒で構成するグループに、史跡めぐりウォークラリーや耐寒キャンプ等を体験させ、各種の活動を通して、心豊かでたくましい青少年を育成する。 【対象者】小学4年生から高校生 【具体的な活動内容】 ①史跡めぐりウォークラリー ②耐寒キャンプ ③野外炊飯 ④創作活動　ほか	市単	[概算コスト] 3,087 （内訳） ・決算額 314 ・人件費 2,773 （0.65人）	[概算コスト] 2,440 （内訳） ・決算額 317 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 2,543 （内訳） ・決算額 293 ・人件費 2,250 （0.53人）	[概算コスト] 2,616 （内訳） ・予算額 310 ・人件費 2,306 （0.53人）	開催回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	参加者数 （単位：人）	[目標値] 100 [実績値] 88 〈達成率〉 88.0%	[目標値] 100 [実績値] 70 〈達成率〉 70.0%	[目標値] 100 [実績値] 72 〈達成率〉 72.0%	[目標値] 100	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 厳しい自然体験、異年齢交流の機会を通じて、子どもたちが豊かな人間性を持ち、自ら学び考える力をつけるために必要である。
91	施設維持・管理	少年自然の家本館改修整備事業	教育委員会 少年自然の家	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】老朽化した本館・プレイルーム及び学習棟の施設・設備及び備品の整備を行う。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ①　施設・設備の補修・改修工事等 ②　使用不能な備品等の更新	市単	[概算コスト] 5,733 （内訳） ・決算額 4,027 ・人件費 1,706 （0.40人）	[概算コスト] 10,713 （内訳） ・決算額 9,227 ・人件費 1,486 （0.35人）	[概算コスト] 15,300 （内訳） ・決算額 14,026 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 9,107 （内訳） ・予算額 7,802 ・人件費 1,305 （0.30人）	施設補修等の件数 （単位：件）	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	施設等の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能を維持するために必要である。

第2編　豊かな心と個性を育むまち
第1章　心豊かでたくましい子どもたちを育む

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
92	施設維持・管理	少年自然の家施設改善事業	教育委員会少年自然の家	○事業開始年度　平成8年度 【概　要】宿泊施設としての設備改修や寝具類等の更新を行い、施設利用を促進する。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ①　シーツ・毛布等の整備 ②　図書等の整備	市単	[概算コスト] 2,350 （内訳） ・決算額 1,283 ・人件費 1,067 （0.25人）	[概算コスト] 1,911 （内訳） ・決算額 850 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 1,332 （内訳） ・決算額 483 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 1,351 （内訳） ・予算額 481 ・人件費 870 （0.20人）	毛布の買い替え枚数 （単位：枚）	[目標値] 250 [実績値] 250 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 150 [実績値] 150 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 50	備品等の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能を維持するために必要である。
93	施設維持・管理	寺山学習農園整備事業	教育委員会少年自然の家	○事業開始年度　昭和55年度 【概　要】親子等での栽培体験・収穫体験等や少年自然の家が主催事業として行う農園を使った事業を通して、農業への理解を深めるため、学習農園としての整備を行う。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ①　農作業用消耗品（くわ・鎌等）の更新 ②　いこいの広場・いこいの林の整備	市単	[概算コスト] 3,997 （内訳） ・決算額 158 ・人件費 3,839 （0.90人）	[概算コスト] 3,739 （内訳） ・決算額 131 ・人件費 3,608 （0.85人）	[概算コスト] 2,670 （内訳） ・決算額 123 ・人件費 2,547 （0.60人）	[概算コスト] 2,321 （内訳） ・予算額 146 ・人件費 2,175 （0.50人）	施設維持に係る消耗品の費用 （単位：千円）	[目標値] 52 [実績値] 52 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 51 [実績値] 51 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 53 [実績値] 53 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 54	施設等の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 農業への理解を深めるとともに、体験の場である学習農園としての機能を維持させるため、整備を行う必要がある。
94	施設維持・管理	キャンプ場等整備事業	教育委員会少年自然の家	○事業開始年度　昭和50年度 【概　要】安全で効率的なキャンプ・炊飯活動を促進するため、キャンプ場の施設・備品等の整備や衛生管理面の機能を拡充する。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ①　炊飯活動に必要な食器・鍋等の整備 ②　キャンプ場の放送設備等の整備	市単	[概算コスト] 3,178 （内訳） ・決算額 192 ・人件費 2,986 （0.70人）	[概算コスト] 2,917 （内訳） ・決算額 158 ・人件費 2,759 （0.65人）	[概算コスト] 2,066 （内訳） ・決算額 156 ・人件費 1,910 （0.45人）	[概算コスト] 2,767 （内訳） ・予算額 157 ・人件費 2,610 （0.60人）	施設維持に係る消耗品の費用 （単位：千円）	[目標値] 193 [実績値] 192 〈達成率〉 99.5%	[目標値] 158 [実績値] 158 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 157 [実績値] 156 〈達成率〉 99.4%	[目標値] 157	施設・備品の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 児童・生徒にキャンプ活動や炊飯活動を安全に衛生的に体験させるため、施設や備品等の整備を行う必要がある。
95	施設維持・管理	屋外施設整備事業	教育委員会少年自然の家	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】利用者の安全性の確保及び活動の円滑化等を促進するため、老朽化している屋外施設の整備を図る。 【対象者】児童・生徒及びその指導者等 【具体的な活動内容】 ①　補修工事 ②　施設修繕 ③　整備に必要な備品の購入 ④　所内整備の委託 ⑤　寺山学習農園駐車場等の錠開閉業務の依頼	市単	[概算コスト] 10,147 （内訳） ・決算額 8,227 ・人件費 1,920 （0.45人）	[概算コスト] 2,816 （内訳） ・決算額 693 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 1,908 （内訳） ・決算額 422 ・人件費 1,486 （0.35人）	[概算コスト] 3,504 （内訳） ・予算額 1,981 ・人件費 1,523 （0.35人）	施設補修等の件数 （単位：件）	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 2	施設等の維持	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 老朽化した施設について、安全確保を図るとともに、利用者のニーズを踏まえた整備を行う必要がある。
96	イベント	わくわくアドベンチャー事業	教育委員会少年自然の家	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】三島村硫黄島で、小学生から高校生までの青少年を対象に、3泊4日の生活体験キャンプを実施する。 【対象者】小学4年生から高校生　100人 【具体的な活動内容】 ①　出発式、船内活動（往路）、島の歴史を聞くタベ ②　冒険ウォーク（俊寛堂、坂本温泉、恋人岬、東温泉他）、ジャンベ体験、みしまⅡ乗船体験 ③　船内活動（帰路）、修了式	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 3,824 （内訳） ・決算額 852 ・人件費 2,972 （0.70人）	[概算コスト] 3,562 （内訳） ・予算額 952 ・人件費 2,610 （0.60人）	開催回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	参加者数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 100 [実績値] 98 〈達成率〉 98.0%	[目標値] 100	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 青少年の体験学習の機会充実を図るために必要な事業である。
97	調査・研究	青少年問題協議会事業	教育委員会青少年課	○事業開始年度　昭和42年度 【概　要】青少年健全育成について研究協議し、執行機関の判断、計画、実施の基礎資料にする。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策を総合的に推進するため、青少年健全育成に関する主な施策等を審議すると伴に、関係行政機関相互の連絡調整を図るため協議会を開催する。	市単	[概算コスト] 2,121 （内訳） ・決算額 415 ・人件費 1,706 （0.40人）	[概算コスト] 2,102 （内訳） ・決算額 404 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,155 （内訳） ・決算額 457 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,313 （内訳） ・予算額 573 ・人件費 1,740 （0.40人）	会議開催数 （単位：回）	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	青少年の健全育成	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地方青少年問題協議会法に基づき、自治体が設置すべきものであり、本市の青少年教育に関する施策を展開していくことは必要である。
98	助成・育成	青少年補導センター事業	教育委員会青少年課	○事業開始年度　昭和39年度 【概　要】非行化のおそれのある青少年を早期に発見して指導するため、関係機関・団体と連携して街頭補導活動や啓発活動を実施し、非行防止・健全育成を図る。 【対象者】青少年 【具体的な活動内容】 ・青少年の相談　・街頭補導及び継続補導 ・関係機関との連絡調整 ・補導書類及び資料の整備 ・非行少年の早期発見又は早期補導	市単	[概算コスト] 12,552 （内訳） ・決算額 12,125 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 12,428 （内訳） ・決算額 12,003 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 11,356 （内訳） ・決算額 10,931 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 11,920 （内訳） ・予算額 11,485 ・人件費 435 （0.10人）	補導参加人数 （単位：人）	[目標値] 4,100 [実績値] 3,587 〈達成率〉 87.5%	[目標値] 4,100 [実績値] 3,744 〈達成率〉 91.3%	[目標値] 4,100 [実績値] 3,852 〈達成率〉 94.0%	[目標値] 4,100	青少年の非行防止・健全育成	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 青少年の非行防止のために必要である。